

表9. 第1次デルファイ調査結果: 思考習慣

「賛成」2点、「どちらともいえない」1点、「賛成しない(反対)」0点

評価観点と評価基準案			賛成 (人)	どちらともい えない (人)	反対 (人)	合計 (0～28点)	同意率 (%)	自由記載欄と補足インタビュー	解釈
1. Confidence/ 自信 Assurance of one's reasoning abilities 自分の論理的推論能力に対する確信	1-1	Be able to explain the rationale of own thoughts using data, knowledge and theory 自己の考えの根拠をデータや知識、理論に結び付けて説明できる	12	2	0	26	92.9	① 適切である。賛成。 ② 1年生はできない人が多い。 ③ 2年生のアセスメントに良い。 ④ 学生による。学生は自分の意見の理由に自信をもっていえる学生とできない学生がいる。学生にケースを与えて、レポートを見る。理由を書いている人もいし、理由を書いていない人には、どうしてそう思うのか理由を聞く。（補足インタビュー）	①【同意】 ②【学生の現状】 ③【評価の時期の提案】 ④【学生の現状】
2. Contextual perspective/ 文脈の把握 Consideration of the whole situation, including relationships, background, and environment, relevant to some happening 起こっている事柄についての、人間関係、背景、環境に基づく全体状況の把握	2-1	Be able to consider issues from multiple perspectives 多角的で複数の視点で課題を挙げることができる	13	1	0	27	96.4	⑤ この課題は何の課題を指しているのかその理解は人さまざまだと思う。ラオス語はいろんな意味を指すので例を挙げた説明があると良い（補足インタビュー）。	⑤【加筆修正の必要性】
	2-2	Be able to take action with consideration of purpose, situation and other people's emotions, culture and values 目的・状況・相手の感情・文化、価値観を考慮した言動をとる	13	1	0	27	96.4	⑥ ラオス語の修正案「and～and ～and」となっているので「～, ～, and～」が良い。	⑥【ラオス語修正案の提示】
3. Creativity/ 創造性 Intellectual inventiveness used to generate, discover, or restructure ideas; imagining alternatives アイデアを創造し、発見し、再構築するために使われる知的な発明的能力：代替を想像すること。	3-1	Be able to generate various ideas that are optimal for the patient 患者に最適になるようにいろいろな工夫をする	13	1	0	27	96.4	⑦ 「創造性」は教員にとっても難しく、評価するのも難しいと思う。教員がどんどん新しい考えを出していく姿勢がないと学生はできるようにならない（補足インタビュー）。	⑦【評価基準への懸念】
	3-2	Be able to actively propose ideas to solve problems 問題解決に必要なアイデアを積極的に提案する	13	1	0	27	96.4	⑧ 新しいことを提案できる人もいるが、できない人もたくさんいる。 ⑨ 学生は恥ずかしがり屋なので4年生にも難しいではないか（補足インタビュー）。	⑧【学生の現状】 ⑨【不支持】
	3-3	Be able to suggest new ideas for solutions 解決策について新たな考えを提案する	11	3	0	25	89.3	⑩ 学生は自分の考えに自信がなく恥ずかしいのでできない。 ⑪ 1年生には難しい。教えても1年生は恥ずかしくて笑っているだけだ。4年生に適切だと思う（補足インタビュー）。	⑩【不支持】 ⑪【評価時期の提案】
4. Flexibility/ 柔軟性 Capacity to adapt, accommodate, modify or change thoughts, ideas, and behaviors 考え、アイデアに適応、順応したり、それらを修正、変更する能力	4-1	Be able to be flexible about one's own opinion and accept the opinions of others 自分の意見に固執しないで、様々な人の意見を受け入れている	14	0	0	28	100.0	⑫ 他の人の意見をすぐに取り入れる学生とそうでない学生がいる（補足インタビュー）	⑫【学生の現状】
	4-2	Be able to coordinate changes in the nursing care plan or treatment based on patient response 患者の反応によって看護ケアの変更や処置の変更の調整を行う	14	0	0	28	100.0	⑬ 1年生には無理（補足インタビュー）。 ⑭ 学生には難しい。4年生になっても学生には知識が十分にはないのでできないと思う（補足インタビュー）。 ⑮ 変更の調整を行うのは難しいが、変更の必要性がわかるだったら良いと思う。変更が必要になったら、必ず看護師に相談して一緒にやらないといけない（補足インタビュー）。	⑬【評価時期の提案】 ⑭【不支持】 ⑮【不支持】
	4-3	Be able to modify one's own actions to adjust to a situation 状況の変化によって自分の行動の修正ができる	14	0	0	28	100.0		
5. Inquisitiveness/ 知的好奇心 order to explore possibilities and alternatives 知識を追い求めて何かを知ろうと熱望すること、観察や熟慮した質問をすることによって可能性や他の方法を探究し理解しようとする	5-1	Be able to search for the reason or evidence (investigate or ask questions) なぜだろうとその理由や根拠を求める（調べる、質問する）	14	0	0	28	100.0	⑯ 1年生には無理（補足インタビュー）。	⑯【評価時期の提案】
	5-2	Be able to ambitiously learn the nursing knowledge necessary for the most suitable nursing practices 最適な看護実践に必要な看護知識を意欲的に学習している	14	0	0	28	100.0		

	5-3	Be able to clarify unclear points 不明な点は確認する	14	0	0	28	100.0		
	5-4	Be able to put a decision on hold and think from various points of view until a sufficient basis for decision is obtained 十分な根拠が得られるまでは、判断を保留し、様々な観点から考える	14	0	0	28	100.0	⑰ ラオス語修正案。ラオス語「決定して」から「考える」となっているので「考えて」から「決定する」の方が良い。 ⑱ 「判断を保留する」という意味の言葉がわかりにくい。修正案あり。	⑰【ラオス語修正案の提示】 ⑱【ラオス語修正案の提示】
	5-5	Be able to present what was learned through literature, classroom learning, practice, or tasks 文献、教室における学習、実習、あるいは課題を通した学びを提示できる	13	1	0	27	96.4	⑲ 「学んだことを説明できる」	⑲【加筆修正案の提示】
6. Intellectual integrity/ 知的誠実さ Seeking the truth through sincere, honest processes, even if the results are contrary to one's assumptions and beliefs たとえ結果が自分の考えや主義に反するものであっても、誠実で正直なプロセスを通して真実を探求しようとする	6-1	Be able to think carefully with consideration of both pros and cons, including conflicting opinions 対立する意見も含めて、賛否両方の立場からじっくり考える	14	0	0	28	100.0	⑳ 意味がわからない。誰が対立する意見をもつのか、誰が対立するのかわからない（補足インタビュー）。	㉑【加筆修正の必要性】
	6-2	Be able to emphasize facts and evidence 事実や証拠を重視する	14	0	0	28	100.0	㉒ 「事実」に対応するラオス語の修正案。調査票に使われている「事実」のラオス語は概念が大きい。 ㉓ 「事実」に対応する言葉がタイ語からきているので修正した方が良い。	㉒【ラオス語修正案の提示】 ㉓【ラオス語修正の必要性】
	6-3	Be able to gather both information that matches with one's own views and that disagrees with one's own view 自己の見解に合致する情報と合致しない情報の両方を集めている	13	1	0	27	96.4	㉔ 意味がわからない	㉔【不支持】
	6-4	自己の見解に合致する意見と合致しない意見の両方に根拠を求める Be able to seek grounds for both views that are consistent with one's own views and those that are not	12	2	0	26	92.9	㉕ ラオス語の修正案「合致しない」が末尾にあるので修正が必要。	㉕【ラオス語修正案の提示】
7. Intuition/ 直観 Insightful sense of knowing without conscious use of reason 論理を意識することなく行われる洞察力	7-1	Be able to concretely describe one's intuitions the student experienced 自己が経験した直観を具体的に述べることができる	14	0	0	28	100.0		
	7-2	Be able to acknowledge noticing as the starting point of thinking 気づきを自己の思考の出発点にすることができる	14	0	0	28	100.0	㉖ まず患者さんに必要なことは何か。ショックの患者がいた場合、大切なことは何かと気づくことが大切。指導教員が指導するのではなく、まず学生が何の行動が必要かを考えさせてから正しいかどうかを評価する（補足インタビュー）。	㉖【支持】

8. open -mindedness/ 開かれた心 A viewpoint characterized by being receptive to divergent views and sensitive to one's biases 異なる見方を尊重したり偏見に敏感なことを特徴とする視点	8-1	Be able to listen to other people and respect their way of thinking 他の人の発言に耳を傾けて考えを尊重することができる	14	0	0	28	100.0	<p>㉔ 他人の意見を認めるという部分は、教員と学生の間でも必要。いろんな人の意見を聴くとその人の価値観がわかるので必要なことだと思う。創造性3－1にも関係しているのではないかな。</p> <p>㉕ ラオス語の修正案「listen to they」になっている。「listen to other people」の方が良い。</p> <p>㉖ 「開かれた心」は実習のケースカンファレンスや大学でのグループワークの時に評価できる。他の人の意見を聞いて、その意見にどのように対応しているか評価できる（補足インタビュー）。</p> <p>㉗ 「開かれた心」の項目はラオス語の修正が必要（補足インタビュー）。</p> <p>㉘ 思考習慣8はわかりにくいと思う。読んだ後に考えないといけない。修正案はすぐには浮かばないが、例えば、偏見や価値、信念とかだと難しいので「平等に他の人の意見を受け取る」など簡単にして文章も短くするとわかりやすいのではいか（補足インタビュー）。</p> <p>㉙ ラオス語がわかりにくい、わかりやすいラオス語があれば、学生の考えもわかるので評価項目としていた方が良い（補足インタビュー）。</p> <p>㉚ 開かれた心は、講義の時、グループディスカッションやケースカンファレンスの時に評価できると思う（補足インタビュー）。</p>	<p>㉔ 【支持】</p> <p>㉕ 【ラオス語修正案の提示】</p> <p>㉖ 【評価の場面】</p> <p>㉗ 【ラオス語の加筆修正の必要性】</p> <p>㉘ 【加筆修正の必要性】</p> <p>㉙ 【ラオス語の加筆修正の必要性】</p> <p>㉚ 【評価の場面】</p>
	8-2	Be able to make efforts to know others' way of thinking 他者の考えを積極的に知ろうとしている	12	1	1	25	89.3	<p>㉛ わかりにくい。</p>	㉛ 【不支持】
	8-3	Be able to recognize that one's own thoughts are affected by one's prejudice, values and beliefs 自己の考えをもっているが、偏見や価値、信念が自己の考えに影響していることを自覚している	11	1	2	23	82.1	<p>㉜ わかりにくい。</p> <p>㉝ 文章が長くて理解するのが難しい項目である（補足インタビュー）。</p> <p>㉞ 「偏見」は良いことばではないので削除した方が良い。偏見を除くと評価項目としては良い（補足インタビュー）。</p> <p>㉟ 学生の価値観を知ることでもできるし、学生が他人の考えにどのように対応するかは重要なので評価項目としては必要だと思う（補足インタビュー）。</p>	<p>㉜ 【不支持】</p> <p>㉝ 【不支持】</p> <p>㉞ 【加筆修正案の提示】</p> <p>㉟ 【支持】</p>
	8-4	Be able to recognize how to understand other people's way of thinking to keep in mind of one's own biases, values and beliefs 自己の偏見や価値、信念を考慮しながら他者の考えをどのように捉えているかを認識できる	11	1	2	23	82.1	<p>㊱ わかりにくい。</p> <p>㊲ 理解するのが難しい項目である（補足インタビュー）。</p>	<p>㊱ 【不支持】</p> <p>㊲ 【不支持】</p>
9. Perseverance/ 追求心 Pursuit of a course with determination to overcome obstacles 障害を乗り越え、決意をもって達成しようとする	9-1	Be able to actively find an answer by oneself 自ら進んで答えを探そうとする	14	0	0	28	100.0	<p>㊳ 「追求心」の項目はラオス語の修正が必要（補足インタビュー）。</p>	㊳ 【ラオス語修正の必要性】
	9-2	Be able to examine all facts and evidence as far as can be considered 考え得る限りすべての事実や証拠を調べる	14	0	0	28	100.0	<p>㊴ 「事実」に対応するラオス語の修正案。調査票に使われている「事実」のラオス語は概念が大きい。</p>	㊴ 【ラオス語修正案の提示】
	9-3	Be able to try various ways to solve a problem ひとつのやり方で問題が解決しないときには、いろんなやり方を試みる	14	0	0	28	100.0		
	9-4	Be able to logically analyze and organize complex situations and identify the necessary clues for solution 複雑な状況でも論理的に分析、整理し、解決に必要な手がかりを見つけだす	14	0	0	28	100.0	<p>㊵ organize よりmanageの方が良いのでは？</p>	㊵ 【加筆修正案の提示】
	9-5	Be able to make efforts to find a solution that can satisfy other people, each of whom has a differing opinion それぞれが納得できるような解決に努める	11	3	0	25	89.3	<p>㊶ 読んでわからない。</p>	㊶ 【不支持】

10. Reflection/ 省察 Contemplation upon a subject, especially one's assumptions and thinking for purposes of deeper understanding and self-evaluation 主題について熟考すること、より深く理解し、あるいは自己評価を目的として自己の前提や思考についての熟考	10-1	Be able to monitor one's own behavior in practice 実践の中で自分の言動のモニタリングができる	14	0	0	28	100.0	④④ 実習の時のリフレクションに使える。ケースの患者さんにどうアプローチをするのか、患者さんどうい会話をするのかをみる（補足インタビュー）。 ④⑤ クリティカルシンキングの評価は、主に、大学での授業で使うことになると思うが、レフレクションは大学だけでなく実習でも評価することになると思う。実習では、振り返って残された課題はなんなのか、大学の講義では、次は何をするのかのリフレクションに使えると思う（補足インタビュー）。	④④【評価の場面】 ④⑤【評価の場面】
	10-2	Be able to be aware of one's own thoughts and emotions in practice 実践の中で自分の思考や感情に気づく	14	0	0	28	100.0	④⑥ 実習のときの学生の忍耐力をみる。患者は病気になっているので、悪い言葉を学生にかけたり、態度が悪かったりするが、それに学生がどのように対応するのかをみる。機嫌が悪い患者さんへの対応のときにみれると思う（補足インタビュー）。	④⑥【評価の場面】
	10-3	Be able to review a result from a deep and multifaceted perspective 結果を深く多角的な視点で見直す	14	0	0	28	100.0		
	10-4	Be able to recognize one's own values, thoughts, and assumptions from voluntary self-analysis of one's own behavior, thinking and decision making 自己の言動・思考・意思決定を主体的に分析し、自分の価値観、思考、前提に気づく	14	0	0	28	100.0		
	10-5	Based on analysis and evaluation, be able to guide improvement measures, correct a decision, or to decide the next action 分析・評価により改善策を導く、あるいは行動決定の修正や次の行動の決定をする	13	1	0	27	96.4	④⑦ 少し文章が長いが、よく読むとわかる。得られた情報を分析して、評価して、手法や改善策を考えることになる。その後、正しかったらそのまま正しくなかったら修正して、次の段階、どういいうふうに進むのかを決めるということだと思うが、じっくり読まないといけない（補足インタビュー）。 ④⑧ 意味がわからない。	④⑦【加筆修正の必要性】 ④⑧【不支持】
10項目	34項目					27.1	96.8		